

会 議 録

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	企画政策課
会議名 (審議会等名)	令和6年度 第3回 嬉野市総合戦略推進委員会		
開催日時	令和7年3月19日(水) 13:30～14:30		
開催場所	嬉野市塩田公民館2階 第四研修室		
会議の公開の可否	Ⓐ ・ 不可 ・ 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合はその理由			
出席者	委員 (敬称略)	戸田順一郎、西川潤一、山下勝一郎、副島篤子、鶴田英樹、大門光	
	事務局	総合戦略推進部長、企画政策課長、副課長	
	その他		
会議の議題	① 委員長あいさつ ② 議事 ・ 総合戦略（令和5年度）事業進捗状況・効果検証（※観光系指標分）について ・ 次年度以降に向けた第2期総合戦略の改訂（見直し等）について ③ その他 ・ 第3次総合計画・第3期総合戦略・人口ビジョン見直し策定スケジュールについて		
配布資料	① 令和6年度第3回嬉野市総合戦略推進委員会次第 ② 嬉野市まち・ひと・しごと創生総合戦略＜令和5年度事業進捗・効果検証シート＞ ③ 【R7.3改訂(案)】第2期嬉野市まち・ひと・しごと創生総合戦略		
審議等の内容	別紙のとおり		

審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	企画政策課
議 題	1. 総合戦略（令和5年度）事業進捗状況・効果検証（※観光系指標分）について 2. 次年度以降に向けた第2期総合戦略の改訂（見直し等）について		
内 容	1. 事務局より説明。委員質問・事務局回答、委員の意見等		
審議経過	事務局	総合戦略（令和5年度）事業進捗状況・効果検証（※観光系指標分）について説明） それでは、私の方から<u>次第3</u>嬉野市総合戦略令和5年度事業進捗状況・効果検証（※観光系指標分）についてご説明いたします。事前配布しておりました令和5年度事業進捗状況・効果検証シートをご覧ください。 令和6年度第1回委員会において観光系指標分以外の実績については、ご説明しているところですが、観光系指標分がまとまりましたのでご説明いたします。 基本目標①嬉野市に住みたい・行きたい“ひと”の流れをつくる。 基本目標①KPI 状況 1P 目 ○交流人口⇒2,245千人。R4.1,952千人。コロナ以前である基準値は1,968千人（H30年度）。コロナ以前を上回る。 (2) 観光まちづくりの推進・国際交流活動の推進 2P 目 ○宿泊観光客数⇒521千人。R4.460千人。コロナ以前である基準値は588千人（H30年度）。基準値には若干届かなかったが、回復傾向。 ○外国人観光客数⇒25千人。R4.3千人。コロナ以前である基準値は120千人（H30年度）。実感としてもっと増えているような印象ではあるがR6年度の数値に期待。 基本計画②嬉野市で働きたい“しごと”をつくる。 基本計画②KPI 状況 (3) 魅力ある地域商工業の創造 1 3P 目 ○観光消費額⇒15,990百万円。R4.12,621百万円。コロナ以前である基準値は14,408百万円（H30年度）。コロナ以前を上回る。特に宿泊費の伸びが見られ、客単価がR4.10,900円/人⇒R5.18,000円/人と1.65倍増となっている。高付加価値化事業の効果が見受けられる。 説明は以上となります。	
	議長	ありがとうございました。観光系のデータがようやく出たということでアップデートしていただいたというご説明だったと思います。ただ今の事務局からの説明につきまして委員の皆様から何かご意見・ご質問等があれば頂戴したいと思います。いかがでしょうか。	

	委員	観光の売り上げがでていますけど、トータルはあるが、業種別とかコロナが終わって旅行客がわーっと増えてからよく町の人に言われるんですが、「旅館はもうかっています。町中のお店にはお金がおちてきていません。」という話をよく聞くんですけど、そういうのがわかるデータはあるのですか？結構国なんかも旅館には補助をたくさんだしたり協力するんだけど、町の小売りの店はそんなに回復してないよというのがある。
	事務局	観光客の動態調査というもののの中で観光消費額は調査してあります。当市の市勢要覧資料編 2024 の中に観光消費額が宿泊費であったり、飲食費であったり、土産品費であったり、項目を分けて額の記載があります。おっしゃっている話は飲食費の部分に該当してくるのかなと思いますが、R5 実績でいけば金額の伸び幅分は全て宿泊費が伸びている状況でありました。
	委員	飲食も旅館さんが中で提供されていると思いますので、数字であがってくるものと実際、中で働いていらっしゃる方の感覚のズレがでてきているように思う。なにかそこら辺が分かれば、必要な所に必要な対策が作りやすいのかなと。
	事務局	先ほど説明の中でも言いましたが、高付加価値化事業というところで結構施設の方は手を入れられているところではございます。単価に直してご説明させていただきましたが、そこをひろったのが宿泊費の合計のところを宿泊観光客数で割って単価を算出し、比較しています。それでいけば、先ほどおっしゃられた飲食費だったり、土産品費だったり項目立てて記載がありますので拾い上げることはできるのかなと思います。
	委員	時間がかかることなので今すぐというのはあれだと思いますけど、将来的に多分今みたいなバブルは続かないと思うので、どこかで落ちてきたときに、今度は下がってくるのも旅館じゃなくてまちのお店が先に下がってきだすようだと実はまち全体がもうかってきても一部の業種だけはぐーんと沈んで大変なのかなと。ちょっと心配がありました。
	事務局	一応と言ったらあれですけど、うちの方で観光戦略を策定していますが、その中で重視してあるのが「観光消費額」の部分でもありますので、その辺は宿泊との両輪といいますか、そういう捉え方で計画建てをされていますので、当然、滞在をしていただいてお金を落としてもらうというところにも重きをおいて作られている計画であります。その辺は何かしらの対策を講じられると思います。
	議長	そのほか。
	委員	さきほどの質問に関連して、さっきご説明があった 13P 目の空き店舗率が基準値よりも高いなと思ったのと、ご説明あったかもしれませんが、前年度より増えている感じですか？ 新しいお店が増えているような気がして、温泉街に行くとまちなかは少しづつ埋まってきている様な雰囲気を感じられることもあって、例えば昨年度じゃないかもしれませんが塩田の方も若い人たちが結構入って目立っているお店が出てきているなという印象。やっぱりそういうところに人が入っていったるところが見えている中で、やっ

		ぱり空き店舗率が増えているというのはまちなかじゃなくてちょっと離れたところのお店がたたまれたりとか、人手不足だったりとか、高齢化で事業を承継していただける方がいなくなってきて自然にお店をたたまれているところが増えてきているのか、その辺の傾向みたいなのがあるのか、旅館で中食が戻ってきて旅館で完結してしまっとなかなか外に出る方が少なく、お店がうまくいかなくてたたまれているとかそういったところがあったりするのかなと思ったりしたもので質問させていただきました。
	事務局	実績の数字からいけば、R4 年度については、23.9%ということではほぼ変わらない様な感じにはなっているのかなと。ただ、以前の数字を見ていきますと R2 年度とかは、まだ 20%を超えていない。18.4%です。その具体的な原因の究明というところまでも至っていない状況ではあります。意外と肌感覚では塩田なり若い方、移住してこられた方とかが入られて事業されているケースもありますが、R4 年度から R5 年度に関しましては、若干改善、ほぼ変わらないですが若干、数字としては改善しているところですが、事業継承できないとかそういった部分は結構あると思いますし、掘り起しをかければもっと出てくるのかなという印象もありますが、なかなかそこまで手がまわっていないというのが現状です。
	委員	たぶん地域の課題感として、減っていくことが課題なのか、減ってはいるものの必要な部分できちんとお店があったりとかして、人口は減っていったるわけですから誰も住んでいないところに店舗が必要な訳ではないですので、やっぱり要所要所で必要な地域にあるべきお店があるとか、そこで空き店舗が目立っていないとかというところがちゃんと確認できればそういったところが「まち」として成り立っているのであれば、それは空き店舗率が増えたからといって地域の課題にはならないのかなというところがあるので、やっぱり数字が大きいから課題ということじゃなくて、そのエリアが困っているかどうか、なくなったことで困っているかどうかというところをきちんと確認されれば減っていったる事に対してもあまり疲弊することではないのかなと。我々は肌感としていいお店が増えてきているなと思ってきている中でこの空き店舗率が増えていることが「まち」としてどういった課題に繋がっているのかというところをせっかくやられているのであれば将来的に分析できるような形になれば皆さんたちも色々なところで空き店舗率が増えているけどどうなのかと問われた時に、こうだから増えていても今のところこのエリアに関しては心配ないとかそんなことが言えるのかなと思います。
	委員	商店街の空き店舗率というのは、吉田とかはどうなっているのですか。嬉野の商店街だったり、塩田の塩田津だけが「商店街」ですか？今更ですが、どこまでが含まれていますか。吉田地区とかもともとのお店が少ない中で減っていくと生活のための買い物に 10 分、20 分かけて行かないといけなくなっているのか。
	事務局	観光商工課と商工会でデータを共有しています。
	委員	商工会が行っている商店街調査はおっしゃるとおりいわゆる嬉野温泉街の特定の地域と塩田地区の特定の地域を商店街として指定していて、その中で佐賀県からの依頼もあって商店街で数年に一度、空き店舗率を調査しているというところです。

	事務局	なので特定の地域でさきほど周辺部の話もありましたが、元々あった商店が空き店舗になったという部分は数字には含まれないのかなと思います。先ほど良いご意見をいただいたと思います。私たちも空き店舗の率だけを着目していた部分もあったので、今回そのようなご意見もいただきましたので非常にありがたかったなと。違った見方があるのかなと思います。印象として古くなった店舗が解体をされて更地になりそこに新しく店舗を建てるケースが結構あるように思いますが、用途は様々でしょうが次に使える部分にしようというような流れはあるのかなと。
	議長	その他いかがでしょうか。 ～質問なし～ それでは、次のテーマに移らせていただいてよろしいでしょうか。 ～異議なし～承認 続きまして次年度以降に向けた第２期総合戦略の改訂について、事務局より提案・ご説明をお願いいたします。
	事務局	先ほど、観光消費額の件ですが、Ｒ５年 15,990,000 千円。前年度から 4,600,000 千円程度伸びていますが、そのほとんどの 4,300,000 千円が宿泊関連となります。それに伴う飲食が 150,000 千円程度伸びていて、土産品費はほとんど変化なしです。交通費は微増。入場料は微減。ほぼ態勢としては、宿泊のお客さんで賑わった分がアップしている状況です。今後、課題の部分も良い面は良い面としてありますが、課題の部分も見えてくるのかなといったところです。 ●次年度以降に向けた改訂について ・事前にお配りしていましたが、第２期嬉野市まち・ひと・しごと創生総合戦略（令和７年３月改訂版）（案）をご覧ください。 ・今回の改訂については、令和６年度第２回委員会においてご承認いただきました計画期間の２年間の延長に伴う累計目標値を５ヶ年累計から７ヶ年累計に修正したものが主な改訂内容となります。朱書き箇所が変更箇所です。 ○２Ｐ目 ４総合戦略の計画期間→２０２６（令和８）年度 ○４Ｐ目 （１）目標設定→７年後の２０２６（令和８）年度末 ○５Ｐ目 １成果（アウトカム）を重視した目標設定→２０２６（令和８）年度 ○６Ｐ目 ・地域における DX の推進 →新庁舎移転を契機とした住民接点の多様化とバックヤード業務の集約・効率化ということで、窓口における業務改革についてです。 ※以下、コメント欄をご参照ください。 ・ゼロカーボンシティの実現に向けた取り組み ※コメント欄をご参照ください。 森林Ｊクレジット創出事業：森林の管理による CO2 吸収量をクレジットとして国が認証する制度です。森林経営の新たな収入源となり、カーボンニュートラルの実現にも貢献します。 例）認証されたクレジットは、環境配慮やカーボンオフセットを意識する企

	業などに購入してもらう。森林が吸収したCo2をCo2排出事業者がクレジット（削減量）として購入することで相殺（オフセット）する。 ○8P目 【数値目標】人口の社会減（7カ年累計）700人以下 ※以下、コメント欄をご参照ください。 ○10P目 （2）観光まちづくりの推進・国際交流活動の推進（具体的な施策） ・モニタリングシステムを活用した源泉データの集中管理による温泉の保全 ※以下、コメント欄をご参照ください。 ○11P目 （3）移住・定住したいまちの推進 【重要業績評価指標（KPI）】市・県が支援した移住者数1,050人 ※以下、コメント欄をご参照ください。 ○13P目 （5）人と地域が元気になるスポーツの推進 本文中 ※以下、コメント欄をご参照ください。 （具体的な施策）スポーツを市民みんなで～ ※以下、コメント欄をご参照ください。 ○14P目 （6）ひとにやさしいまちづくりの推進 【重要業績評価指標（KPI）】「ボッチャ」競技参加人数1,800人 ※以下、コメント欄をご参照ください。 ○15P目 （7）ふるさと教育の推進・関わりたいまちの推進（具体的な施策）本市に関わりを～ 具体的な取組事業として ※以下、コメント欄をご参照ください。 ○16P目 <基本目標②>嬉野市で働きたい“しごと”をつくる 【数値目標】■新規雇用者数（7カ年累計）220人 ※以下、コメント欄をご参照ください。 ○17P目 （1）企業誘致ビルを活用した新たな雇用の創出 【重要業績評価指数（KPI）】企業誘致による新規雇用者数200人 ※以下、コメント欄をご参照ください。 ○17P目 （具体的な施策）・企業進出しやすい～ ※以下、コメント欄をご参照ください。 ※ゼミ合宿等宿泊費助成事業補助金 市内産業の持続的発展のため、人材の確保を推進することを目的として、嬉野市内の企業等への訪問を伴うゼミ合宿等へ、予算の範囲内で補助金を交付する。 ゼミ等の代表者に対し、宿泊費の1/2（学生1人あたり1泊上限3,000円）を交付。ただし、1人につき訪問を行う企業が1社の場合は3泊分、2社以上の場合は5泊分を上限とする。 ○18P目 （2）地場産業を支える企業支援・起業支援の推進 【重要業績評価指標（KPI）】市内企業支援およびマッチング～14人 市が支援した起業件数14件
--	--

		※以下、コメント欄をご参照ください。 ○20P 目 （4）うれしの茶の生産振興と販路・需要開拓 【重要業績評価指標（KPI）】海外販路開拓に向けた商談成立件数 100件 （具体的な施策） ※以下、コメント欄をご参照ください。 ○22P 目 （6）活力ある農業担い手の育成と農業後継者の確保 【重要業績評価指標（KPI）】トレーニングファーム～ 13人 ※以下、コメント欄をご参照ください。 ○23P 目＜基本目標③＞嬉野市で結婚・出産・子育てしたい“まち”をつくる 【数値目標】出生数 1,400人 婚姻数 840組 ※以下、コメント欄をご参照ください。 ○24P 目 （1）出会いをサポートする結婚支援 【重要業績評価指標（KPI）】出会いの場における～ 110組 ※以下、コメント欄をご参照ください。 ○25P 目 （2）妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援 取組事業について記載。 ※以下、コメント欄をご参照ください。 【重要業績評価指標（KPI）】電子母子手帳アプリ～ 550人 ※以下、コメント欄をご参照ください。 （具体的な施策）・ゆつつら子育て応援給付金～ ※以下、コメント欄をご参照ください。 ○30P 目＜基本目標④＞嬉野市で安心して暮らしたい“地域”をつくる （2）安全・安心なまちづくりの推進 【重要業績評価指標（KPI）】消防団員数 900人（34人） ※以下、コメント欄をご参照ください。 ○31P 目 （3）健康長寿のまちづくりの推進 取組事業について記載。 ※以下、コメント欄をご参照ください。 【重要業績評価指標（KPI）】特定保健指導実施率 64.0以上 ※以下、コメント欄をご参照ください。 ○32P 目 （4）誰もが元気で住み続けられるまちづくりの推進 【重要業績評価指標（KPI）】認知症サポーター数 3,000人 ※以下、コメント欄をご参照ください。 説明は以上です。
	議長	ありがとうございました。修正いただいたのは主に5ヶ年累計になっている指標に関して7カ年累計に修正したと。考え方としてそういうせいかくでないものに関してはそのまま。それではただ今の説明につきまして、皆様からご意見、ご質問等ございませんでしょうか。

委員	13P のところですが、スポーツの推進についてですが、国スポが終わってひと段落したんですけれども、昨年できた野球チーム、九州独立リーグでしたっけ？あそこのチームが嬉野市と提携を結んで市は応援をして、チームは嬉野の PR を世界に向けて外国の方たちなのでその国に発信しますということをやりますということ協定を結んだということらをちらっと新聞で見たことがある。そこはこうやって計画に入れ込んでバックアップしていくことは謳わないのですか？
事務局	例えばですけど、そういった活動の中で交付金を活用して何か取り組みたいといったところが担当からあがってくれば、必然的に入れ込む形になると思いますが...
委員	今のところは、協力程度でそこまで至っていない？
事務局	佐賀アジアドリームズを使って何か地方創生の取組をしたいということころまでは発展していないと思います。そういった取り組みを見据えるのであれば、手前から計画としてあげていって準備をしておけば、いつでもできる状況になると思います。特に話があがっているかと言えばあがっていないです。
委員	うちの方に依頼がきて色々と発信用にスタジアムに光ケーブルを設置したり、配信用の映像制作に協力してくれませんか？というものが来ている。市長とも話をして市も協力しますよという話はいただいているということで相談にこられた。今後何かあるのかなと思って...
事務局	連携協定を結んで色々な事業をやっていく中で、県を訪問されて知事とも会われています。今日、嬉野市にも表敬訪問されています。3/29 開幕です。糸口はスポーツということですけどもスポーツ振興というだけでなく、ドリームズが色々な地域貢献をしていきたいというような事は伺っておりますので、スポーツに限らず色々具体化した場合には毎年改訂していく中で組み込んでいけたらと思います。地域に入ってみたい事も言うていただいていますので、そこでスポーツに限らず体力づくりであったり、地域との交流みたいな部分も連携協定のなかにあったと思います。部門部門で入れていけたらと思います。今のところ具体化している部分がなかったので担当課からは直接あがってきていません。
議長	その他いかがでしょうか？ ～質問なし～ それでは、事務局よりご提案がありました第 2 期総合戦略の改訂について、提案された内容で改訂することとしてよろしいでしょうか？ ～異議なし～承認 それでは、先ほどの内容で改訂することとしたいと思います。 最後に次第 4 その他です。事務局から何かございますでしょうか。
事務局	第 3 次総合計画・第 3 期総合戦略・人口ビジョン見直し策定スケジュールについてということでスケジュールをお示ししております。 前回会議において、総合計画と総合戦略の一体的な策定（※総合計画実施計画を総合戦略とする位置づけ）の説明をさせていただきました。 一体的な策定を行うことに伴い、総合戦略推進委員＝総合計画審議会委員とする方向で調整を取りたいと考えています。 今回委員名簿は添付しておりませんが、佐賀県庁の副島委員様、佐賀

		銀行嬉野支店長石川委員様が現任期一杯（令和7年3月31日）で退任なされ、後任の佐賀県庁職員、佐賀銀行嬉野支店長の各委員様へ引き継がれます。佐賀県職員枠選出の委員様につきましては、事務局より依頼を行い、嬉野市出身の方の内諾を得ています。 現総合戦略推進委員につきましては、産・学・官・金・労・言・士・市民公募の8名の皆様により組織しています。今後の委員会体制につきましては、先ほど申しました様に一体的な策定を行うことに伴い、総合戦略推進委員＝総合計画審議会委員とし、観光分部門・福祉部門・教育部門・地域部門・DX部門・市民公募の6部門につき新たな委員委嘱を行いたいと考えています。このうちDX部門につきましては、言論部門の西川副委員長に言論部門・DX部門を併任いただけたらと考えています。このため、現総合戦略委員8人プラス5人の13人体制で委員会運営を行いたいと考えています。 このことに伴いまして、総合戦略推進委員会条例において「委員会は委員10人以内で組織する。」との記載がありますので、委員人数を（実際は12人体制ですが、）総合計画審議会条例に合わせる形で10人→20人に令和7年6月議会に上程し、改正したいと考えています。 委員委嘱については、条例改正後の令和7年6月議会が終了した後に、総合計画審議会委員の委嘱と同じタイミングでの委嘱を計画しています。説明は以上となります。
	議長	はい。ありがとうございます。よろしいですかね。
	事務局	今回、6年度末を迎えるにあたって今、市議会の方も3月議会定例会が開催中です。今日は休会で昨日まで一般質問でした。その中でも総合戦略の部分は今回延長というように形で次期総合計画の一体策定に向けての延長ということで前回の11月の第2回の時にご提案した内容ですけれども、この内容等について一般質問なんかも複数の方が「計画期間が終わるけれどもどうなるのか。」「次期計画策定はどうなるんだろうか。」という部分で一般質問も複数受けましたし、議案質疑の方で今年度から色々な広聴事業、市民の方、団体の方から色々なお話を聞いて、それを計画に活かすというような事業は広報・広聴課と一緒にやっていってる状況ではございますけど、策定に向けての予算を建ててというのは7年度でしたからその辺の議案質疑、予算に対しての議案質疑等もあったところでございます。今後、11月の内容について委員会にもお示しをしていますという部分と、細かくは今のよう委員の構成の部分も聞かれています。決定は、委員会の方で了承いただいた後に先ほどの条例改正だとかそういった部分に入っていきたいなということで4月、5月は前準備と言いますか色々な業務の人口ビジョンの見直し等もございますので、委託事業の契約とかそういった部分もありますので、その辺を進めながらまた、委員の皆さんに審議をいただく場面もでてくるのかなということで、あらかじめ議会の方でも一体的な策定については、非常に前向きに捉えていただいている程度そういった効率化の部分では「良いんじゃないだろうか。」というような声もいただいている様な状況でその辺は理解をいただいているのかなというような状況にはございましたので、その辺のご報告はさせていただきますというところで発言いたしました。
	議長	それでは、本日予定の議事につきましては全て終了いたしました。以後の進行は事務局の方をお願いいたします。委員の皆様ありがとうございます

	事務局	ございました。 それでは、事務連絡ということで、長年総合戦略推進委員をお勤めいただきました佐賀県庁の副島委員様、佐賀銀行嬉野支店長の石川委員様におかれましては、本年度令和7年3月31日をもちましてご退任されますことをご報告いたします。委員として長年ご尽力いただきましたことに対しまして深く御礼申し上げます。ありがとうございました。
	副島委員	まち・ひと・しごと創生総合戦略のスタートの時から、ご縁があって関わらせていただいております。この総合戦略に関わらせていただく中で結構私も嬉野市のいろんな「まち」を訪れる機会も増えましたし、いろんな地域の方々と接する機会も多くなって、何回も行くような間柄になって、その人達に会いに行くために嬉野に行きたくなるなという風な思いが結構強くなってきて、この10年間ぐらいを見ていくなかでも新幹線の駅ができたり、温泉旅館が増えたり、コロナもありましたけどやっぱり嬉野市の中の若い人たち30代、40代の人たちがすごく元気だなというか、そういう人たちが今、前面に出てきて少し「まち」を変えていきたいとか、「まち」をもっと面白くしていきたいとかっていう風に思ってもらっしゃる方がいるということがすごく「まち」の活力というか、これから「まち」が先々成り立っていきけるような感じの希望が持てる人は減っていくけどちゃんと「まち」のことを考えてくださっている若い人たちがいるということが、すごく良いことだなという風に嬉野はそういうところが良い面だなというのをすごく感じたところでした。今回、委員は離れますけれども引き続き皆さんたちと何らかの関りをもちながら、嬉野市の皆さんたちが実践されていることのサポートだったりとか応援ができれば良いなと思っております。本当に長い間ありがとうございました。後任の者も私より随分若くなりますし、先ほどご紹介があったように嬉野市出身ということで嬉野市のことをすごく良く考えて色々なアイデアを出してくれる人材だと思っておりますのでよろしくお願いいたします。ありがとうございました。
	一同	ありがとうございました。
	事務局	平成27年から第一期の計画なので、色々な部署を渡り歩く中でこちらまで足を運んでいただいて、ご意見もいただきながらさせていただきました。本当にありがとうございました。また、相談事等ありましたら相談させていただきます。それでは以上を持ちまして令和6年度第3回嬉野市総合戦略推進委員会を閉会いたします。委員の皆様、本日は大変お疲れ様でした。ありがとうございました。 閉会。
その他	なし	